

広報

くじ

9

2012
月1日号
No. 156

名水で 夏を味わう

7月29日、山根名水四十八泉の一つ「長寿の泉」で山根小・中学校の流しそうめん交流会が開催。子どもたちは暑い日差しの中、竹で作られた樋を勢いよく流れるそうめんを上手にすくって口に運び、夏を満喫しました。(関連記事17頁)

■久慈中学校野球部、夢と感動をありがとう

東北大会優勝

P 2—5

■長内中学校柔道部、県大会優勝

団体戦3連覇

P 6—7

あまちゃんが久慈に来た！

P 12

激戦を
制してきた
選手たち



サポート
してきた
選手たち



東北大会で優勝し笑顔の野球部員たち

久慈中学校野球部 東北大会優勝！ 県勢では6年ぶり 全国中学校軟式野球大会へ出場

県大会、45年ぶり2度目の優勝
東北大会、県勢6年ぶりの優勝
この夏、久慈中学校野球部は
幾多の困難を乗り越え
全国大会へ出場しました
勇気と感動をありがとうございました

1回戦	久慈 3 — 1 秀光中教校 (宮城第2代表)
2回戦 (5回コールド)	久慈 8 — 1 鶴岡三中 (山形第1代表)
準決勝 (延長8回)	久慈 3 — 2 稲川中 (秋田第1代表)
決勝	久慈 2 — 1 将軍野中 (秋田第2代表)

東北中学校野球大会での久慈中学校の対戦結果

45年ぶり県大会優勝

第66回岩手県中学校野球大会は7月21日から23日に行われました。久慈地区代表の久慈中学校（宇部澄男校長）は、1回戦から接戦が続き、2回戦では特別延長になるなど、厳しい試合が続きました。しかし諦めることなく戦い決勝まで勝ち進みました。
決勝戦では一戸町立一戸中学校に1対0で競り勝ち、同校45年ぶり2度目となる優勝を果たしました。

止まらない快進撃！

久慈中の快進撃は止まりません。8月6日から8日に福島県会津若松市などで行われた第41回若鷲旗争奪東北中学校野球大会では、東北6県の代表を相手に堂々たる戦いで決勝へ進み、全国大会への出場権を獲得しました。決勝戦では秋田県代表の秋田市立将軍野中学校の攻撃を1点に抑え、サヨナラ勝ちで初優勝、東北大会を制しました。
岩手県勢の東北大会優勝

は6年ぶり、全国大会の出場は4年ぶりでした。

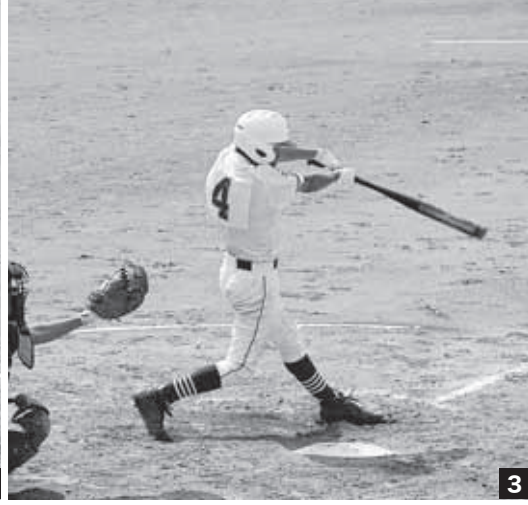
大舞台でも動じない

「県大会、東北大会と諦めずに逆転できる雰囲気がありました。大舞台でも動じずプレーできる力があるチームだと思います。全国大会でリードされても逆転できると思います。」同校野球部監督の土谷智先生は東北大会の優勝報告で快進撃を振り返りました。
同校野球部は3年生が中心のチーム。キャプテンを中心に励まし合い、チームの雰囲気盛り上げ勝ち進んできました。キャプテンの鹿糠裕太くんはチームについて「ピッチャー中心で、守備からリズムを作り攻撃につなげるチームです。メンバーは個性豊かですが、ピンチの時でも声を掛けあう信頼できる仲間です」と団結力の強さを話してくれました。
そして8月16日、久慈中学校野球部は全国大会決勝の地、群馬県前橋市へと出発しました。

全国大会 の軌跡



6



3



7



4



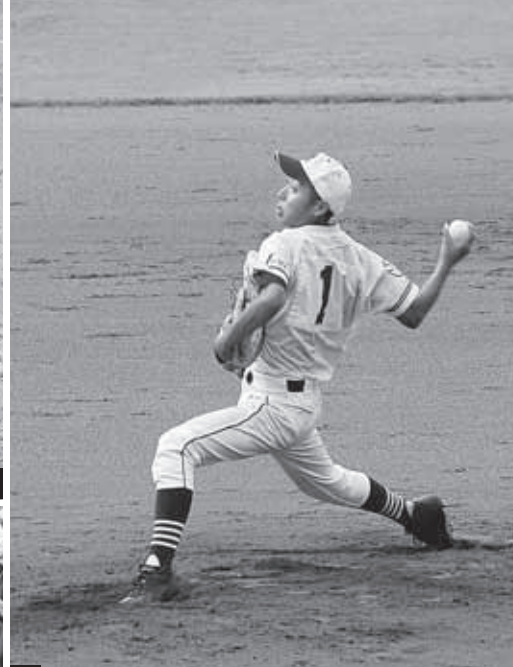
8



9



5



1

1 / 力投でチームの勝利を支えた谷崎周史くん
2 / 1回裏、送りバントを決める新山直樹くん
3 / 3回裏、舛森大河くんのヒット。チャンスを広げます
4 / ノーアウト満塁のチャンスに応援にも力が入ります
5 / 相手のワイルドピッチで待望の1点
6 / 6回裏、谷崎くんのヒットで1点を追加
7 / 7回裏の攻撃を前に、逆転を信じ気合いを入れる選手たち
8 / 7回裏、粘る久慈中。星野泰史くんがヒットを放ち2塁へ
9 / 試合を終え、応援席に深々と頭を下げる選手たち



2



気合いを入れ、駆け足でベンチを出る選手たち

先取され追う展開―

久慈中学校の後攻で試合は始まりました。ピッチャーの谷崎周史くんは1回を3者凡退に抑え、順調な滑り出し。1回裏の攻撃では出塁もあり、試合は久慈中のペースで進むかと思われました。

しかし、2回表に南生田中学校に2点を先取、3回表には1点を追加され3点を追う厳しい展開になりました。

3回裏、久慈中の攻撃は、死球とヒット2本でノーアウト満塁のチャンスになりました。バッターは4番、主将の鹿糠くん。初球のワイルドピッチでランナー1人がかえり1点を返しました。しかし、その後の打線が繋がらず、残念ながら追加点はありませんでした。

満塁逆点のチャンス

6回裏、2アウト1、2塁のチャンスで、谷崎くんが2

第34回全国中学校軟式野球大会は8月18日から21日までの間、群馬県前橋市で開催
久慈中学校は19日、神奈川県代表の南生田中学校と対戦
全国の舞台で岩手県代表として熱い戦いを見せてくれました

塁打を放ち1点を追加。点差を1点に縮めました。続く高田翔太くんがデットボールで出塁し満塁となると、1打逆転のチャンスに応援も最高潮に。逆転に向け舛森大河くんも粘りましたが、追加点には至りませんでした。

7回表、南生田中に追加点を奪われ、2点差で迎えた裏の攻撃。これまでも幾多の逆転勝ちを収めてきた久慈中に応援団も逆転を信じ応援し続けました。しかし、2塁に出塁するも逆転のランナーをホームにかえすことはできず、惜しくも破れました。

実力を発揮し上位を

試合後、鹿糠くんは「自分に回ったチャンスを、点数につなげられなかったことが悔しいです」と振り返りました。また、後輩たちには「自分たちより野球のセンスがいいと思うので、大会で実力を発揮できれば上位を狙えると思う

ます。」とエールを送りました。3年生のメンバーは今大会で引退しますが、次の大会に向け1、2年生は練習を開始しました。東北の王者としての誇りを胸に、次の勝利に向け、がんばれ久慈中野球部！

平成24年度全国中学校体育大会 第34回全国中学校軟式野球大会試合結果

	1	2	3	4	5	6	7	計
神奈川県川崎市立 南生田中学校	0	2	1	0	0	0	1	4
久慈中学校	0	0	1	0	0	1	0	2

選手に感謝



野球部コーチ
鹿糠 裕一さん

野球部監督
土谷 智さん



本当に惜しい試合でした。もう少し上まで勝たせなかったです。1、2年生にはこの借りを返すよう頑張してほしいですね。

選手の糧になるいい試合だったと思います。できなかったことを次のステージで乗り越えてほしいと思います。

感動をありがとう



中村友貴くんの父
中村 敦さん
(西の沢)

谷崎周史くんの父
谷崎 博さん
(新井田)



決して悪い試合ではなかったと思います。ここまでやれたので良い思い出になったのではないのでしょうか。お疲れ様でした。



後藤 和剛 くん（中堅）
（3年）
県大会 60kg級 3位



日形井 奏太 くん（副将）
（2年）
県大会 73kg級 2位
東北大会 73kg級 5位



旭岡 貴祐 くん（大将）
（3年）
県大会 90kg級 優勝
東北大会 90kg級 3位
全国大会個人戦にも出場

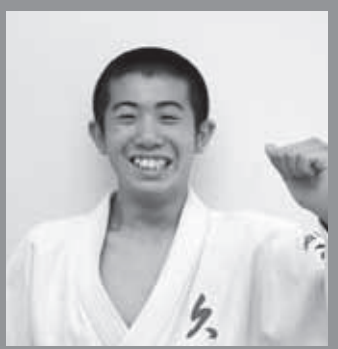
団体戦を制した 長内中学校 の選手

氏名下の順位は
個人戦での成績

個人戦を制した選手



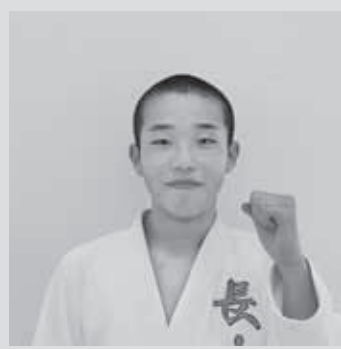
切金 美希 さん
（久慈中3年）
県大会 63kg級 優勝
東北大会 63kg級 5位



外館 闘志 くん
（久慈中2年）
県大会 50kg級 優勝
東北大会 55kg級 5位



久松 泰斗 くん（先鋒）
（2年）
県大会 55kg級 2位
東北大会 55kg級 2位



日向 翔輝 くん（次鋒）
（2年）
県大会 55kg級 3位



全国大会を前に、試合に向けての気合いを見せる長内中学校柔道部部員

長内中学校柔道部男子 団体戦3連覇！ 全国大会に出場

長内中学校柔道部はこの夏
3年連続9回目の県大会優勝
個人戦でも、久慈市の選手が活躍し
全国の舞台で奮闘してきました
柔道のまち久慈市を担う
選手たちの活躍に期待がかかります

1 回戦	長内	5	—	0	千厩中（一関）
2 回戦	長内	5	—	0	乙部中（盛岡）
3 回戦	長内	3	—	2	大船渡一（気仙）
準決勝	長内	4	—	1	東和中（花巻）
決勝	長内	3	—	1	河南中（盛岡）

県中学校総合体育大会での長内中学校の対戦結果

感動させる柔道を

県中学校総合体育大会柔道競技は7月21、22の両日、県営武道館で行われ、長内中学校（後忠美校長）の柔道部は、男子団体戦の部で優勝し全国大会への切符を手に入れました。同校の全国大会出場は3年連続9回目になります。

同校柔道部は、全員柔道、周りも感動させる柔道を目指して日々練習を重ねてきました。県大会後、東北大会、全国大会に向けた練習を重ねる選手たち。その練習中に顧問の小原俊先生から「本気の姿勢を見せなさい。そうでなければ誰も感動なんてしない！」と激が飛びます。「ここぞというときのまとまる力がここ数年の中で1番のチームだと思えます」チームについて話す小原先生。チームに懸ける期待も自然と大きくなります。

個人戦も全国へ

個人戦でも久慈市の選手が活躍し、長内中の旭岡貴祐くん（3年）、久慈中学校の外館闘志くん（2年）、切金美

希さん（3年）が県大会で優勝。全国大会へ出場を決めました。

東北、そして全国

全国大会に先立ち8月8、9の両日、秋田県立武道館で行われた東北中学校柔道大会では、長内中は予選リーグで敗退しましたが、大会後は気持ちを切り替え練習に励み、全国大会に向け万全の態勢を整えました。

また、個人戦では長内中の久松泰斗くん（2年）が2位に入賞したほか、全国大会出場の3人の選手も上位入賞し、全国大会へ弾みを付けました。全国大会は、8月22日に神奈川県で行われました。団体戦で長内中は全国の強豪の前に健闘しましたが残念ながら予選リーグ突破に至りませんでした。23、24の両日に行われた個人戦でも、上位入賞こそできませんでしたが、どの選手も善戦しました。

この夏の全国の大舞台を踏み、選手たちは何かを得てきたはず。これからは柔道のまち久慈市の選手たちの活躍に期待がかかります。

守ろう！下水道の利用マナー

下水道はみなさんで使用する公共の財産。
マナーを守って大切に使いましょう。



■台所

野菜くずや残飯、天ぷら油などは、
管のつまりや処理施設の機能低下の原因になります。



■水洗トイレ

トイレットペーパー以外は使わない
ようにしましょう。



■お風呂、洗面所

排水口にたまりやすい髪の毛は、配
水管を詰まらせます。



■洗濯

合成洗剤に含まれているリンは、環
境悪化の原因になります。無リン洗剤
を使うよう心がけましょう。



■危険物

ガソリン、シンナー、石油、アルコー
ル類などの危険物は絶対に流さないで
ください。爆発の恐れがあります。



■マンホール

マンホールのふたは絶対に開けない
でください。事故や下水が吹き出す原
因になります。

図解 公共下水道



公共下水道は市が整備し、管理するものです。各家庭
のトイレやお風呂、台所などの排水設備は、個人で設置
し、管理するものです。

排水設備は、公共下水道が利用できるようになってから
6カ月以内（水洗トイレの改造は3年以内）に設置す
ることになっています。

快適な生活と、川や海などの環境を守るため、早めに
下水道につなげましょう。

1万2700人が使えるよう
なっています。
本年度は旭町、寺里、門前、
小久慈町、長内町の一部が新
たに供用開始され、小久慈町、
寺里、湊町、大崎地区の一部
を整備しています。
また、公共下水道と併せて
漁業集落の生活排水などを処
理する「漁業集落排水施設」
も、本年度は新たに、小袖地
区の一部で供用開始されてお
り、さらに整備を進めます。
工事を行う地区の皆さんに
は、交通規制などでご不便を
おかけしますが、ご協力をお
願います。

融資や補助の利用を

自宅などの排水設備の改造
工事を行う人には、無利子
の融資あっせん制度がありま
す。また、浄化槽を設置する
人には、補助金を交付してい
ます。詳しくは、左の枠内を
ご覧ください。

夏になると川や海では楽し
そうに遊ぶ子どもたちの姿が
見られます。恵まれた自然環
境がいつまでも続くように、
そして未来を担う子どもたち
に引き継ぐために、できるだ
け早く排水設備や浄化槽を設
置しましょう。



市下水道課
藤原 和幸 課長

環境や快適な暮らしのため

下水道には川や海の汚れを防ぐほかに、
雨水ポンプ場や雨水排水路によって街を水
害から守る役割もあります。融資や補助の
制度もありますので、環境や快適な暮らし
のためにも下水道や浄化槽などを利用して
ほしいですね。

環境と暮らしを守る 下水道



8月5日に開かれた長内川川まつりでいかに乗って遊ぶ子どもたち

私たちが使っている水は、
大昔から自然の中で何回となく循環を繰り返しています。
水を汚すことは、私たちの生活にはね返ってくることになります。
大切な水を守るために、下水道について考えましょう。

水の汚れは生活排水

私たちは毎日、食事や洗濯、
お風呂など、たくさんのお水を
使って快適な生活しています。
しかし、使い終わった水は汚
れていて、そのまま水路や側
溝に流し続けると、嫌にお
いがしたり、ハエやカなど
が発生して生活環境の悪化を招
きます。

汚れた水が川や海に流れ込
むと、水遊びができなくなる
ほか、魚や虫も住めなくなる
だけではなく、私たちの暮ら
しにも、さまざまな悪影響を
及ぼすこととなります。

生活と水環境を守る

快適な生活環境と、きれいな
川や海を守るためには下水

水環境を
みんなで
守ろう！



道の整備と利用が必要です。
下水道は、日常生活や事業
所の生産活動などによって汚
れた水をきれいにして自然に
返す施設です。

下水道が整備され、各家庭
などで汚水を流す排水設備を
設置すると、汚れた水は下水
道の管を通して浄化センター
に運ばれます。集められた汚
水は、きれいな水に生まれ変
わり、再び川に返されます。

また、汚水の処理で発生す
る汚泥も、肥料や土木工事な
どの資材として再利用されて
います。

整備を進めています

平成4年から稼働している
公共下水道は、市街地を中心
に全人口の約34%にあたる



記念すべき5万人目の欠畑伸太くん
(右から2番目)

再出発から1年を迎え 感謝と決意

まちなか水族館5万人

もぐらんぴあ・まちなか水族館(宇部修代表)は7月30日、入館者5万人を達成。被災し、市街地で再出発した昨年8月5日から約1年で、喜びの節目を迎えました。

5万人目となったのは、欠畑伸太くん(久慈湊小3年)。突然の出来事に恥ずかしそうにしながら宇部代表から認定証と記念品を受け取りました。

伸太くんは「びっくりしたけどうれいす」と照れ笑いを浮かべていました。

宇部代表は「多くの皆さんから様々な支援をいただいたおかげです。もっと楽しい水族館になるよう頑張ります」と感謝と決意を述べました。



書いた魚は名前を当てた子どもにプレゼント

久慈ゆかりの魚を解説

目からウロコトークショー

8月6日、久慈グランドホテルでさかなクンのトークショーが開催されました。トークショーでは、この日潜った久慈湾の様子や、久慈に縁のある魚の絵を描き、その生態などを説明しました。さかなクンの明るく軽快なトークに子どもたちは目を輝かせていました。

TOPICS 支援関係

まちなか水族館復旧へ支援相次ぐ



支援物資を受け取り握手を交す宇部代表(右から2番目)

どんどん使ってー

6月20日は、長机10個とパイプ椅子30脚がもぐらんぴあ・まちなか水族館に届けられました。寄贈を行ったのは、盛岡市を拠点に被災地支援を行っているSAVE I WASTE(寺井良夫代表)。同会では、県内外から支援物資を受け

入れ被災者へ物資の支援を行っています。同館では、展示スペースの拡張に伴い不足していた椅子と机の調達について、いわて未来づくり機構に打診していました。支援の品を届けた同会ボランティアスタッフの鈴木竜一さんは、「寄贈された物品は、大事にして奥の方にしまいがちですが、もともと自分の物であつたかのようにどんどん使ってほしいです。」と思いを込めていました。物資を受け取った宇部修代表は、「支援について、話が早く進んで驚いています。今日頂いた物資は体験コーナーの充実や、イベントなどで活用したいです」と笑顔で話していました。



支援物資の目録を受け取る宇部代表(右)

ミクロにも興味を

7月23日は、精密顕微鏡など6種類11セットが国内の顕微鏡メーカー26社でつくる日本顕微鏡工業会(笹宏行会長)から贈呈されました。震災後、同館では顕微鏡が無かったため①魚類等の病気を調べる方法が無い②水中の微生物や受精卵の観察などは

観察することが難しいという状況でした。そのため、顕微鏡の支援についても同機構に協力をお願いしていたところ、今回同工業会会員の6社から支援いただくことになりました。この日は、同工業会から長野主税事務局長が来館し、「まちなか水族館で役立っていたら、子どもたちがミクロの世界に興味を持つきっかけになればうれしいです」と宇部代表に目録を手渡しました。宇部代表は、「もぐらんぴあの復興にも大いに役に立つものです。いろんな体験に有意義に使いたいです」とお礼を述べました。

TOPICS 支援関係

水族館の復興のために

8月1日、一戸小学校の児童をはじめ20人がまちなか水族館を訪問。「運動会のために自分たちで集めました。水族館の復興のために役立ててください」と児童会長の卯花彩妃さんから義援金38,011円が宇部修代表に手渡されました。



真心のこもった義援金を受け取る宇部代表

7月11日～8月10日受付分

被災者への義援金、市への寄付金

熱い支援に感謝

義援金

■県外■

【千葉県】▼関口英行

【東京都】▼五味秀春

【神奈川県】▼菅野恵▼神林洋行

■市内■

【企業・団体】▼久慈市中核農家クラブ

■口座振替■

【個人】▼イワセ・ヒデオ

【その他】▼匿名1件

久慈市に寄せられた義援金は8月10日現在、1061件、8506万3332円となっております。

寄付金

■県外■

【東京都】▼一般社団法人東北漁業再開支援基金・希望の烽火▼牛島一平

【その他】▼匿名1件

■県内■

【盛岡市】▼(株)あさ開

■市内■

【企業・団体】▼伊藤多喜雄を招ぶ会・岩手くじ噺の会

募集 義援金ご協力を

市では、久慈市地震災害義援金を募集しています。この義援金は、市内の被災した方々に分配されます。皆さんのご協力をお願いします。

▼受付期間

平成25年3月31日まで

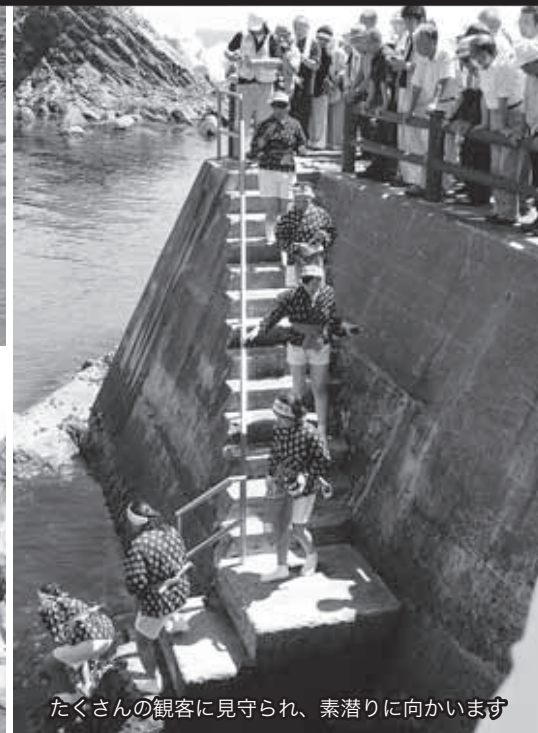
▼受付場所(現金)

①社会福祉課(市役所1階)

②山形総合支所

③各支所(宇部、侍浜、山根)

- 1 / 小袖漁労唄の伝統を受け継ぐ小袖小学校の児童
- 2 / 会場ではサバ汁も振る舞われ来場者も大喜び
- 3 / 海女がたくさんのウニを持って海面に上がると温かい拍手が送られました
- 4 / 高校生海女クラブも頑張っています



たくさんの観客に見守られ、素潜りに向かいます

夏の太陽の光が降り注いだ8月5日、小袖海女っこ市が開催され、小袖漁港はにぎわいました。イベントは、東日本大震災により、例年開催していた「北限の海女フェスティバル」を縮小したもので、昨年からは開催していません。

会場には、屋台が並び、焼きウニや焼きイカ、田楽などが販売されたほか、小袖漁港内ではシーカヤックの体験なども行われました。

オープニングセレモニーでは、東日本大震災の犠牲者への黙とうが行われた後、北限の海女フェスティバル実行委員会委員長の村塚繁好さんが「震災から間もなく1年と5カ月になりますが、小袖漁港の船や倉庫などはご覧のように復興が進んでいます。このように皆さんのご来場を歓迎できる状況を変えたい」と話しました。

海女の素潜り実演では、高校生海女クラブのメンバーを含む6人の海女が海に潜り上がり、ウニを採って海面に上がると観客からは温かい拍手が送られていました。

東日本大震災の被害にも諦めることなく、復興に向け伝統を守り続ける北限の海女。その前向きな姿が印象的でした。

にぎわう漁港 地域を盛り上げ

思います。また10月からは連続テレビ小説「あまちゃん」のロケも小袖地区で行われるというので、これまで以上に地域を盛り上げ皆さまで共に頑張っていきたいと思っています。」とあいさつ。

オープニングセレモニーに続いては、小袖保育園園児によるかわいらしい踊りと、小袖小学校児童による小袖漁唄などが披露され海女っこ市を盛り上げました。

海女の素潜り実演では、高校生海女クラブのメンバーを含む6人の海女が海に潜り上がり、ウニを採って海面に上がると観客からは温かい拍手が送られていました。

コミュニケーション楽しい！

思っていた以上にたくさんの方に来場していただいて、びっくりしました。海女クラブの1年生ですが、お客さんとのコミュニケーションが楽しいです。また、先輩海女さんのお客さんへのサービスが温かいことが印象的でした。

海女クラブ・久慈東高1年 中野 百瑛さん



晴れの天気は海女さんの力！

小袖に来るのは初めてです。海女の素潜りはコンプが絡まり危険なこともあると聞いて驚きました。このイベントの日にはよく晴れるそうですね。海女さんの力でしょうか。天気が良くここまでのウォーキングも気持ちよかったです。

青森県南部町 日渡 春深さん



素潜りを見学後、海女と記念撮影

- 1 / 山内市長と笑顔で話す能年さん（中央）
- 2 / 小袖の海女センターでは初めての採れたてのウニに舌つづみ
- 3 / 年が近い高校生海女クラブのメンバーともすぐに打ち解けました



海女さんに感動 第二の故郷に

平成25年4月1日から放送予定の連続テレビ小説「あまちゃん」のヒロイン天野アキ役を演じる能年玲奈さんが、8月11日に初めて久慈市を訪れました。

この日、能年さんは久慈市役所を表敬訪問し、市役所市民ホールでは職員から歓迎を受けました。山内隆文市長は「これからは何度となく来てくれると思うので楽しみにしています。久慈は親しみを感じ

じていただける土地柄なので、撮影を通じて故郷と想っていただけばうれいす」と歓迎。能年さんは「プレッシャーもありますが、世界一の海女さんになれるように頑張ります」と笑顔で宣言しました。

その後、能年さんは小袖の海女センターに移動し、「北限の海女」と対面、海女の素潜りを見学しました。初めて見る海女の素潜りに能年さん

は、驚嘆した様子でした。剥きたてのウニを手渡され、初めて見る動いているウニに驚く一面も。

見学を終えた能年さんは「初めて見た海女さんが格好よくて感動しました。私がいかにやるんだと思うと気持ちが入ります。久慈の撮影では潜ることが楽しみです。たくさん方言も勉強して、立派な海女さんになれるように、そして久慈が第二の故郷になるように頑張るのでよろしくお願いします」と久慈市の皆さんにメッセージを送りました。ドラマを通して成長していく様子が楽しみです。



慣れた手つきでまめぶをつくりました

キズナ強化プロジェクト

交流を通して 深める絆

被災地での復興支援やボランティア活動などを通して海外と被災地との絆を深める「キズナ強化プロジェクト」。第2陣の訪日団が7月29日から久慈を訪問しました。訪日したのは日中関係の将来を担う中国の大学生ら90名。

30日、訪日団は山形町でまめぶ作りを体験。成谷自然食の会、小国古然食の会、まめぶの家の会員らが指導にあたりました。生徒たちはかわるがわる小麦をこねて丸め、手慣れた様子でまめぶを作っていました。まめぶをだし汁に入れ火が通ると試食に。試食した生徒たちは、皆口々に「おいしい」と言っていました。参加者の牛悦敏さんは「餃子料理に少し似ています。餃子は野菜を皮の中に入れて煮ますが、まめぶでは野菜は包まないのでですね。味は、だしとまめぶの甘味の組み合わせが新鮮でした。すごくおいしいです」と笑顔で話していました。

午後は市内を散策し、街なか水族館を見学した後、三陸鉄道に乗りして震災について学習しました。



まちなか水族館で津波被害の説明を聞く参加者

LEARN

プールで海上保安官の出前講座

海中転落時の対応学ば



(左から)「海猿」になりきる瀧澤彩芽さんと滝澤里菜さん

八戸海上保安部の出前講座は8月1日、夏井公民館と地区プールを会場に開催しました。強い日差しの中、地区の児童ら約50人が参加。ロープワーク教室や海中転落時の対応など、海浜での事故防止に必要な技術を学びました。同保安部の津原和宏救難係長は「もし海や川に落ちてしまったら、落ち着いて呼吸の確保、大声で助けを呼ぶ、回りに浮くものがないかを探すことも大事です」と心構えを

説明。救命具の使用方法を教わった児童らは、実際にライフジャケットを着装して次々にプールに飛び込み、泳ぎ方や救助方法を体験しました。水の中で膨らむ救命胴衣を体験した野田泰成くん(夏井小5年)は「急に膨らんでびっくりしました。最初だから心配だったけど、慣れたら泳げるようになりました」と笑顔で話してくれました。



ライフジャケットを着装して普段と違う感覚を体験する子どもたち

COOK

親子でかざり巻きずし作りに挑戦

かわいいパンダに笑顔



太巻きの中から顔を出したパンダに笑顔

8月2日と3日の両日、市給食センターで親子料理道場が開催され、2日間で14組38人の親子がかざり巻きずし作りに挑戦しました。カラフルなエプロンとパンダ姿の参加者は、4つの班に分かれて作業を開始。親子で頭を寄せ合いながら調味料の計量、キュウリの千切り、薄焼き卵づくりと順に工程を進めます。小さい細巻きのパーツを組み合わせると太巻きが完成。それをゆつくり慎重に切ってみると、中から桃



巻いてみたけどちょっと不安。中の様子が気になります

の花やかわいいパンダが顔を出しました。「あつ、かわいい!」子どもたちからは思わず笑顔がこぼれます。お母さんと参加した小袖凜久さん(小久慈小4年)は「パンダの組み立てが難しかったけど上手にできました。もったいないけど食べるのが楽しみです。家でも作ってみたいです」と目を輝かせていました。

ACTIVITY

長内川に楽しいイベント大集合

川と親しみ自然の大切さ実感



大人気のウォータースライダー

8月5日、長内川川まつりが新街橋上流の河川敷広場で開かれ、親子連れなど約1200人が会場を訪れました。地域住民の川への関心を高めるために開催している同まつりは今年で16回目。毎年大人気のウォータースライダーや浮き輪レース、カヌー・カヤック体験など、川と親しみ、楽しめるイベントが会場を盛り上げました。また、「森と湖に親しむ旬間」の企画として設置された木工作りやリース作り、丸太切りなどの各コーナーにも熱心に作業する参加者の姿が見られました。晴天に恵まれた会場内には



水をかけ合って元気に遊ぶ子供たち

ポンプとホースが設置され、くみ上げた水を放水する係員の先には、歓声を上げてはしゃぐ子供たちの明るい笑顔。子供たちは全身で夏と川を楽しんだ様子でした。友達とウォータースライダーで川に飛び込んでいた橋場竜也くん(長内小4年)は「イベントがいろいろあつて楽しいです。川の水は冷たいけど気持ちいい!これからもきれいな川を守ってほしいです」と自然の大切さを実感した様子でした。美しい自然環境はわたしたちの財産です。みんなできれいな川を守りましょう。

CAMP

バッテリーキャンプ2



デザートフルーツもくささい

山根小中学校が流しそめん 湧き水でツルッと夏満喫

山根小・中学校の流しそめん交流会は7月29日、山根名水四十八泉の一つ「長寿の泉」で開催。同校の児童・生徒や関係者ら約50人が参加しました。

長寿の泉は地域コミュニティ振興事業を活用して、久慈の名水を守る会（松川孝会長）が環境を整備。清潔感あふれる憩いの場に生まれ変わりました。松川孝会長は「水道水は山根の水が始まりです。きれいな水に感謝しながら楽しみましょう」と水の大切さを参加者に説明しました。

開会行事の後、流しそめんの準備が始まりました。子どもたちは薬味係、そうめん係などのグループに分かれ、保護者などの指導を受けながら手際のいい仕事ぶり。湧き水でキリッとしたそうめんを指にクルクルと巻き付けて、一口分の束をザルに並べる姿は職人そのものです。

薬味のみじん切りを担当した猿舘美優さん（6年）は「湧き水で冷たいそうめんはおいしかったです」とニコリ。暑い日差しの中、参加者はツルツルッとぜいたくな夏を満喫していました。



準備もみんなで手際よく

投票日は
9月19日(水)

市農業委員会委員一般選挙を行います

図市選挙管理委員会 ☎52-2111(内線472)

選挙区は2つ

10月14日に任期満了となる久慈市農業委員会委員の一般選挙を次のとおり行います。選挙区は旧久慈市地域の第1選挙区と、旧山形村地域の第2選挙区の2つに分かれます。立候補の届け出方法などの説明会はありません。詳しくは市選挙管理委員会にお問い合わせください。

投票日は9月19日

■委員定数

◆第1選挙区（旧久慈市地域） 15人

◆第2選挙区（旧山形村地域） 8人

■立候補届出

9月12日(水) 8時30分～17時
・市役所3階第1会議室

■投票日時

9月19日(水) 7時～18時

■投票できる方

農業委員会委員選挙人名簿（平成24年3月31日確定）に記載されている方

■投票所

下記の表をご確認ください

■期日前投票

仕事や旅行、冠婚葬祭などで投票日に投票所に行けない方はご利用ください

▼期日前投票の日時

9月13日(木)～18日(火) 8時30分～20時

▼期日前投票の会場

◆第1選挙区：市役所1階

第3会議室（議会議棟）

◆第2選挙区：山形総合センター

■開票時間と会場

9月19日(水) 19時30分～
・市役所3階大会議室

【第1選挙区】（旧久慈市地域）

投票区	投票所の場所	投票区	投票所の場所
第1投票区	保健センター	第15投票区	門の沢子供会館
第2投票区	中央公民館久慈湊分館	第16投票区	滝の沢青少年会館
第3投票区	天神堂公民館	第17投票区	宇部公民館
第4投票区	畑田沢里公民館	第18投票区	中田親交館
第5投票区	枝成沢公民館	第19投票区	川原屋敷地区農村センター
第6投票区	小久慈公民館	第20投票区	小袖漁村センター
第7投票区	日吉公民館	第21投票区	侍浜地区農村センター（侍浜公民館）
第8投票区	勤労者家庭支援施設（長内公民館）	第22投票区	麦生農村センター
第9投票区	大川目農村総合センター（大川目公民館）	第23投票区	堀切ふれあいセンター
第10投票区	大川目北部公民館	第24投票区	山根生活改善センター（山根公民館）
第11投票区	山口地区伝承館	第25投票区	端神公民館
第12投票区	滝いちご館	第26投票区	細野公民館
第13投票区	はなだて公民館	第27投票区	木売内公民館
第14投票区	コスモスの家	第28投票区	深田公民館

【第2選挙区】（旧山形村地域）

投票区	投票所の場所	投票区	投票所の場所
第29投票区	山形総合センター	第33投票区	日野沢公民館
第30投票区	霜畑地区コミュニティセンター	第34投票区	荷軽部地区集落センター
第31投票区	小国地区多目的集会施設	第35投票区	戸呂町地区集落センター
第32投票区	来内地区集落センター	第36投票区	つなぎ地区消防コミュニティセンター

農業の未来のための
選挙だよ



新潟県小千谷市立東山小学校児童が山形町を訪問



広報リポーターの突撃取材！



華やかな衣装で踊る参加者

帰省客など
千人が集う

お盆の8月13日大川目町まちづくり協議会（野田勝久会長）は第16回久慈備前の里夏祭りを開催。小・中学生の郷土芸能のほか、鎮魂の打ち上げ花火や懸賞ナニヤドヤラ大会も行われ帰省客など千人余りで賑わいました。（小倉利之リポーター）



泥の中で大熱戦の中学生たち

どろんこで
サッカー大会

どろんこサッカー大会が8月7日、休耕田特設コートで開催。3回目の今年は、夏井・宇部・侍浜の中学生35名6チームが出場し、泥まみれの熱戦を繰り広げました。選手、応援団の大歓声が夏井の田園に響き渡りました。（梅沢政隆リポーター）

ご長寿おめでとうございます

佐々木リサさんが100歳に

7月20日、佐々木リサさん（巽町）が100歳を迎え、家族も集まり長寿を祝いました。山内隆文市長がお祝状を読み始めると、佐々木さんも一緒に声に出してお祝い状を読んでいました。山内市長からお祝い状と祝い金を受け取り、家族から花束をもらって笑顔で喜んでいました。

佐々木さんは裁縫・編み物が好きで、数年前までは布団カバーや孫が学校で使う雑巾などを作ったりもしていたそうです。最近の楽しみはひ孫に会うことという佐々木さん。好き嫌いなく小食だったことと、自宅で好きな編み物をして楽しく過ごしたことが長寿の秘訣のようです。



家族に囲まれ笑顔の佐々木リサさん（左から3番目）

戦没者の安らぎを願い

市戦没者追悼式

戦地で亡くなった人を悼む市戦没者追悼式が、8月9日に市内催事場で行われました。式には遺族など約130人が参加。黙とうと追悼の言葉に続き、献花が行われました。祖国の安泰を願い家族を案じつつ戦地に散った戦没者に、参加者は心からの安らぎを願い、静かに手を合わせていました。



献花をし静かに手を合わせる参加者



熱い演技を見せるキャスト

美しい演出に感動！

被災地での特別復興講演

富良野GROUP東北被災地特別公演「明日、悲別で」の公演は7月28日、アンバーホールで開催。約700人が会場を訪れました。

久慈高校演劇部の谷地伽奈江さんと坂下伶菜さん（共に1年）は「遠くからでも伝わる演技、メイクなどプロの舞台はすごい！」と美しい演出に感動していました。

魚を捕る大変さを実感

久喜小児童が漁業体験

7月26日、久喜海づくり少年団の夏休み漁業体験が2年ぶりに行われました。学年ごとにウニ採りや定置網の網起こしなどを体験。網起こしを体験した廣崎陸星くん（久喜小6年）は、「網を引く漁師さんは力強かったです。魚を捕ることの大変さを実感しました」と話していました。



大きいウニ、かぎで上手に採ったよ～



1



2



3



4



5

- 1／みこしを載せ大漁旗をなびかせ入港
- 2／久慈湊十日会の創作太鼓
- 3／ブースの前には人、人！
- 4／生うには1時間余りで完売！
- 5／高校生海女クラブもホタテ釣りを手伝い

市場に7千人のにぎわい

久慈みなと・さかなまつり

7月29日、市営魚市場卸売場をメイン会場に、久慈みなと・さかなまつり（久慈市漁業協同組合／久慈みなと・夏まつり実行委員会主催）が開催されました。以前はもぐらんぴあ周辺を会場としていた久慈みなと・夏まつりですが、会場では東日本大震災の復旧作業等が行われているため、今年はさかなまつりと合同で開催することとなりました。

オープニングセレモニーでは、久慈湊十日会太鼓組が創作太鼓を披露。力強い響きが海のまつりに華を添えました。

まつりでは、おみ

INFORMATION

暮らしの暮情報

このページでは、くらしに役立つ情報をお知らせします。

★本庁舎 ☎52-2111

★山形総合支所 ☎72-2111

★宇部支所 ☎56-2111

★侍浜支所 ☎58-2111

★山根支所 ☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からもつながります

お知らせ

消防救急フェア開催

9月3日～9日までの「救急医療週間」に合わせてフェアを開催。車両見学やはしご車搭乗、レスキュー訓練の披露などを行います。

▶日時…9月9日(日)「救急の日」10時～15時

▶会場…久慈消防署

☎久慈消防本部 ☎53-0119

森林伐採には届け出を

森林を適切に維持管理するため、森林を伐採する場合は届け出が必要です。忘れずに届け出をしましょう。

▶届出時期…伐採を始める90日から30日前まで

▶届出先…伐採する森林の所在する市町村

※伐採を業者に依頼する場合は、業者と連名での届け出が必要です

☎林業水産課 ☎52-2122

家族介護者支援講演会

女優の小山明子さんによる講演会。自身も重度の介護うつを克服し、夫と二人三脚で介護の日々を乗り越えた経験から、笑顔で過ごせる家族介護についてお話しします。

▶日時…10月25日(休)14時～

▶会場…アンバーホール

▶整理券…9月10日から地域包括支援センター、社会福祉課、山形総合支所、アンバーホールで配布

☎地域包括支援センター ☎61-1557

子ども・若者の育成支援

不登校・ひきこもり、未就労者など社会生活を営むうえで困難を抱えた子どもなどの支援についての研修会。詳しくはお問い合わせください。

▶日時…9月27日(休)14時～16時

▶会場…久慈地区合同庁舎

☎みやこ自立サポートステーション ☎0193-63-4135

育ちに寄り添う子育てを

恵水園相談支援事業所の石羽根ユキ子相談支援専門員による講演会を開催。お気軽にご参加ください。

▶日時…9月6日(休)10時30分～

▶会場…久慈幼稚園

▶対象…小学生までの保護者など

☎久慈幼稚園 ☎53-1295

シルバー110番に相談

高齢者やその家族を対象とした電話相談デー。法律・医療・税金・介護などの悩みに専門家が応じます。

▶日時…9月22日(土)10時～15時

▶相談ダイヤル…☎0120-848-584

☎県高齢者総合支援センター ☎019-625-0110

U・Iターン就職を支援

県では、U・Iターン就職希望者と、採用をお考えの県内企業の皆さんにインターネットを通じて求人・求職情報を提供しています。登録料は無料。詳しくは「岩手県U・Iターンシステム」でご検索ください。

☎県雇用対策・労働室 ☎019-629-5592

産業再生特区の特例

復興産業集積区域内（※）で県が指定した産業を営む事業者が一定の要件を満たせば法人税額などの税制特例を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

※久慈地区拠点工業団地、久慈港諏訪下工業区域、長内工業区域、久慈港半崎工業区域、夏井町大崎地区

☎県復興局産業再生課 ☎019-629-6931

国民健康保険税の減免

東日本大震災で被災した次の世帯は減免を受けられる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

※昨年度申請された方も手続きが必要

対象世帯

○主たる生計維持者の居住する住宅が半壊以上の損害を受けた世帯

○主たる生計維持者が死亡・行方不明または重篤な傷病を負った世帯

○主たる生計維持者の収入が極端に減少する見込みの世帯

○原子力災害対策特別措置法に基づき、避難命令などを受けている世帯

▶申請期限…11月30日(金)まで

☎税務課 ☎52-2114

新卒の県内就職を応援

県内に就職を希望する大学等卒業予定者や保護者を対象に情報提供や面接指導、相談支援を行っています。詳しくはお問い合わせください。

☎盛岡新卒応援ハローワーク ☎019-653-8609

「つながる」アート展

被災地で活動しているアーティストなどが制作した作品を展示します。

▶日時…9月14日(金)～20日(休)9時～17時※20日は16時まで

▶会場…アンバーホール

☎盛岡市中央公民館 ☎019-654-5366

募集

グラウンドゴルフ大会

▶日時…9月30日(日)9時～

▶会場…久慈川河川公園（久慈小学校前）

▶参加資格…小学4年生以上の市民

▶チーム編成…選手6人（うち女性1人以上）、補欠2人 計8人以上※小学生のみの場合は性別不問

▶定員…100人（先着順）

▶申し込み…9月18日(火)

☎社会体育課 ☎52-2156

無料でスキルアップ

コース	期間	定員
Excel2007ビジネス活用	10/2(火)～3(水)	15
ガーデニング基礎(秋)	10/16(火)～17(水)	15

▶会場…久慈職業能力開発センター

▶申し込み…2週間前まで

☎久慈職業能力開発センター ☎53-6261

親子で三鉄おやつ列車

参加した園児にもれなく特製さんてつおやつ(列車型のボックス付き)をプレゼント。運転士の制服を着て記念撮影もできます。詳細についてはお問い合わせください。

▶期間…11月11日(日)までの土・日、祝日・久慈駅14時45分発

▶申し込み…前日の12時まで（各日とも先着10組）

☎三陸鉄道 ☎0193-62-8900

教員志望者に奨学金

九戸地方育英会では大学などの合格通知前に奨学生の予約を希望する人を募集します。※通常採用の募集は12月以降

▶応募資格…久慈広域4市町村内に本籍があり、教員を目指して4年制大学などへの進学を希望する人

▶奨学金…月額3万円

▶申し込み…10月25日(休)まで

☎総務学事課 ☎52-2154

山形福社会の職員試験

平成25年度採用の職員を募集。受験申込書は愛山荘で交付します。

募集職種	必要資格
看護師・1人	看護師（准看護師）＋介護支援専門員
生活相談員・1人	社会福祉士（社会福祉主事）
介護福祉士・1人	介護福祉士

▶共通受験資格…高校卒業以上で、普通自動車免許を有する人

▶試験日…10月7日(日)

▶申し込み…9月30日(日)まで

☎山形福社会愛山荘 ☎72-2300

当院で接種可能な予防接種

▶▶▶▶▶▶▶定期・任意とも◀◀◀◀◀◀◀◀

三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）・二種混合（ジフテリア・破傷風）・BCG・麻疹・風疹・日本脳炎・Hib ヒブ（任意）・子宮頸癌ワクチン（任意）・インフルエンザワクチン・水痘ワクチン（任意）・おたふくかぜ（ムンプス）ワクチン（任意）・B型肝炎ワクチン（任意）・小児および成人の肺炎球菌ワクチン（任意）・A型肝炎ワクチン（任意）

小児科・内科 アレルギー科 **ちだ医院**

久慈市門前37-56-26 ☎61-3366

久慈ひまわり基金法律事務所

債務整理 相続 離婚

など何でもご相談下さい

TEL0194-61-1818

※要予約

営業時間 平日9:00～17:30

久慈市川崎町12-18 YKビル1階

タンスの中の着てない洋服、上手に活用しませんか？

狭くなったパンツやスカートのウエストは最大10cm以上、狭くなったジャケットの胴周りは、約4cm出すことができます。「体重が変化して着てない」「今の流行に合わなくて着てない」こんな洋服を現代的なデザインで着心地よくリサイズしませんか？

★大きいジャケットを袖身に…5,250円～ ★だぶだぶパンツを袖身に…3,150円～ ★ボタン交換…2,400円～ ★パンツ・スカートウエスト調整…1,575円～ ★パンツ・ジャージ裾上げ…630円～ ★肩パッド交換…1,200円～

高感度注文服工房・ファッションリフォーム

高橋洋服店

久慈市旭町(県

復興に励ましの言葉



歓迎セレモニーで記念品を交換する下野艦長（右）と山内市長

交流と理解 深める

護衛艦「たかなみ」久慈港諏訪下埠頭に入港

夏の日差しがまぶしい、7月28日の両日、自衛隊艦艇広報が久慈港諏訪下埠頭で行われました。入港したのは、海上自衛隊の護衛艦「たかなみ」。今回が2度目の入港でした。28日の入港歓迎式典では、下野善彦艦長が「復興に向け、皆さんが力いっぱい頑張っていることを肌で感じています。今回の一般公開を通じて、交流を深め、来場する方々に復興に向けた励ましの言葉をかけられればと思っています」とあいさつ。期間中は一般公開のほか、体験学習、体験航海などが行われ、2日間で約2千人が来場。乗組員の丁寧な説明に、来場者は自衛隊の任務への理解を深めていました。



- 上 28日、一日艦長に任命された久慈高校3年の船渡五月さん。敬礼する姿がりりしいです
- 中 計器に囲まれカッコいいでしょ～！
- 下 自衛隊に入隊を希望する学生の体験学習

大きさに驚き

大きさに驚きました。中の階段も急なんですね。子どもはセーラー服で写真を撮り楽しんだようです。



佐々木 宏美さん
(花巻市)

INTERVIEW

学校で教えたい

手旗はカタカナを表していて覚えやすかったです。ロープワークは学校でみんなにも教えたいです。



岩脇 優太くん
(久慈高3年)



編集後記

▶暑い暑い…。今月は汗でしっとりした腕に机上の書類がくっついて大変な毎日でした。そんな中、湧き水を使った流しそうめんの取材では、子どもたちに混ざり初体験させていただきました。実際にやってみると予想以上に早い！目の前を通り過ぎたそうめんは、隣の子どもがみごとにキャッチ。うーん、参りました。（水上）
▶今年は暑いですね。中学校野球決戦の地、前橋市も暑かったです。試合前は熱中症を心配しましたが、試合中は暑いながらも時折吹く風が心地よく心配は無用でした。それでも夏空の下、取材していると汗だくに。取材を終えて帰るとなんと1kgの減量に成功！まあ、その夜のお酒でもとに戻りはしましたが…。（広崎）

砂 晴樹

くん(7カ月)
砂 君 江さんの孫
(夏井町)



小上 想叶
ちゃん(2歳)
川又洋美さんの孫
(栄町)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くし担当(☎52-2116)に応募ください。写真はお返しします。